

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業分担研究報告書

脊柱靭帯骨化症に関する調査研究研究分担者 池川志郎

所属機関 理化学研究所骨関節疾患研究チーム 役職 チームリーダー

研究要旨胸椎の後縦靭帯骨化症の疾患感受性遺伝子の同定のために、班員と協力して患者サンプルを収集し、全ゲノム相関解析（GWAS: Genome-wide association study）を行う。

A. 研究目的

胸椎の後縦靭帯骨化症の疾患感受性遺伝子(susceptibility gene)を同定する。

B. 研究方法

班員と協力して患者サンプルを収集し、全ゲノム相関解析（GWAS: Genome-wide association study）を行う。相関解析の対照群（control）としては、BioBank Japanに登録されている一般人のGWASデータを用いる。

ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針（平成25年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号）、3省庁のガイドライン等の法令に従う。

C. 研究結果

班員と協力して患者サンプルを収集した。80サンプルが関連臨床情報とともに、集まった。対照群の、BioBank Japanに登録されている一般人のGWASデータを用いる。

D. 考察、

これまでの疫学的研究は、胸椎の後縦靭帯骨化症は、頸椎の後縦靭帯骨化症とは異なる疾患感受性遺伝子を持つと考えられる。

E. 結論

GWASを行うために、班員と協力して300サンプルを初期目標に患者サンプルを収集する。層別化解析のために、疾患関連臨床情報とともに集める。

F. 健康危険情報

総括研究報告書にまとめて記載

G. 研究発表

1. 論文発表なし

2. 学会発表

骨関節疾患のゲノム解析：現状と展望、第36回日本整形外科学会基礎学術集会（教育研修講演），2021.10.15，三重県（on line 講演）

（発表誌名巻号・頁・発行年等も記入）

H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他なし